

12/21(土) 伝承事業 ～しめ縄づくり～

＊文化部

正月を前に、しめ縄づくり教室を12月21日、久木ふれあいプラザで開催。子どもから高齢者までの14人が参加しました。

講師の池淵善雄さん(荘原地区)の指導で、稲わらを一所懸命により合わせ、輪飾りなどを丁寧に編み上げました。

幅広い世代がしめ縄づくりをとおして交流し、楽しく伝統文化に触れるひと時となりました。



12/26(木) 伝承事業 ～ミニ門松づくり教室～

＊文化部

ミニ門松づくり教室を12月26日、久木ふれあいプラザで開催しました。

午前は小学生20人、午後は大人13人が参加。講師の江角俊明さん(中組)から指導を受けながら竹・松葉・葉牡丹・南天など縁起のよいもので飾り付けました。

素敵なミニ門松ができました。



囲碁大会で優勝！ ＊コミセン子ども教室

毎月第3土曜日に開いている子ども囲碁教室のメンバー2人が、囲碁大会で優勝されました！

第12回安来少年少女囲碁大会(9/16安来市)B級戦の部

第1位 中部小5年 妹尾かれんさん(左)

第7回妖怪こども囲碁まつり(10/6 境港市)D級の部

第1位 中部小2年 田中 大輝さん(右)



おめでとうございます 長年の功績を讃え、感謝状・表彰状が贈呈されました。

出雲市自治会役員感謝状 竹下 優治さん(若宮応神)

中国地方保護司連盟会長表彰 佐々木知江三さん(島田)

出雲圏域健康長寿しまね推進会議会長賞 にこにこ体操教室のみなさん(毎月第1・3金曜日コミセンで開催)

お礼 香典返し寄付金

(令和6年11月1日～12月31日受付分)

伊藤 嘉教様(伊藤 芳江様) 島田

※()カッコ内は故人名です。

ご厚志ありがとうございました。
掲載者のお名前は、久木地区自治協会への寄付で、了承を得た方のみ掲載しています。

今後の行事

2月12日(水) なごみ会

2月27日(木) 喫茶・縁

3月12日(水) なごみ会

3月27日(木) 喫茶・縁

※開催日は変更になる場合があります



あけましておめでとうございます

旧年中はたいへんお世話になりました。

引き続き地域の皆さんと様々な活動を行ってまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

久木コミュニティセンター職員一同

久木コミュニティセンター

電話 72-7474 FAX 72-7476 メール: hisagi-cc@local.city.izumo.shimane.jp

久木コミュニティセンター 検索

コミセンの情報は
こちらから

ホームページ

フェイスブック

Instagram

コミセン
だより

令和7年1月20日

ひさぎ

193号

久木の人口 令和6年12月31日現在

	男性	女性	人口	世帯数
美 南	338	364	702	247
福 富	212	224	436	157
原 鹿	351	344	695	224
今在家	273	309	582	209
合計	1,174 (-1)	1,241 (-6)	2,415 (-7)	837 (-1)

※()内は2か月前との比較です。



新年のごあいさつ

久木地区自治協会 会長 高田 茂明



明けましておめでとうございます。みなさまにはご家族おそろいで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、今年の干支は乙巳(きのと・み)です。いろいろな説がありますが、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」ともいわれています。昨年は能登半島地震など災害の多い年でした。今年は災害のない穏やかな年となるよう願っています。久木地区では、いよいよ来年コミセンの建築が行われます。そのため、今年は実施設計が予定されています。みなさまに喜んで使っていただける施設となるよう検討を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



11/3(日) 久木地区カローリング大会

＊久木地区カローリング同好会 ＊健康・スポーツ部

11月3日、アクティーひかわ体育館を会場に「カローリング大会」を開催し、19チーム、57人が参加しました。

3人1組がチームとなって、ジェットローラーをポイントゾーンに目掛け、投げていきます。手元が狂い、曲がったり届かなかったりしながら対戦し、2試合の合計得点で順位を競いました。

<試合結果>

優勝：中組B 準優勝：ハイゴンズB 第3位：興栄



11/16(土) 久木地区ペタンク大会

＊久木地区ペタンク同好会 ＊健康・スポーツ部

11月にしては穏やかな天気の日11月16日、久木地区ペタンク大会を久木健康の広場で開催しました。

9チーム、30人が参加。相手のボールよりいかに目標球に近づけるか、各チーム様々な戦略で得点を競い合いながら年齢や体力を問わず楽しく交流しました。

<試合結果>

優勝：春日 準優勝：宮西B 第3位：健康・スポーツ部



11/18(月) 環境学習バスツアー

＊総務・環境部 ＊出雲市環境保全連合会久木支部 ＊青麦の会

自然に親しみ、環境保全への関心を高めようと11月18日、環境学習バスツアーに25人が集まりました。

まず、三瓶こもれびの広場木工館で、糸のこ盤を使ってタブの木を加工し、キーホルダーを作る木工体験をしました。

次に、三瓶自然館サヒメルで、活火山である三瓶山の自然と歴史を学ぶ展示の見学と、プラネタリウムの星空鑑賞をしました。

続いて、三瓶小豆原埋没林公園で、4千年前の火山噴火によって埋もれた大きなスギを見学しました。かつては根の周り10m、高さ40m以上の木々がうっそうと茂る森だったそうです。太古の壮大な自然に触れることができました。



11/28(木) 交通安全及び青少年育成研修会

＊出雲市交通安全協会直江久木支部 ＊久木こども見守り会 ＊久木地区青少年育成協議会

交通事故防止・防犯意識向上と青少年育成推進の研修会が11月28日、コミセン集会所で開かれ、35人が参加しました。まず、出雲署交通総務課の北尾和也巡査長から高齢者の交通事故防止の話を聞きました。続いて県交通安全アドバイザー森脇一晃さんの指導で認知機能検査を体験しました。

このあと、斐川交番の山根一所長から闇バイトや特殊サギの話があり、直江の銀行ATMで起きたサギ被害を所長が自ら食い止めたと聞き、犯罪が身近な所で発生していることを知りました。

最後に中部小学校の須田勉校長、斐川西中学校の福田隆弘主幹から、それぞれの学校の様子を聞きました。



11/22(金)~24(日) 平和学習会 * 久木コミセン・直江コミセン * 久木地区人権・同和教育推進協議会

終戦79年を迎えるにあたり、久木・直江コミセン合同で「平和学習会」を原鹿の旧豪農屋敷で開きました。
3日間のパネル展では、久木地区出身の江角ヤスさんの功績を紹介。この資料を使って中部小6年生を対象とした平和学習を行い、ヤスさんの平和に対する思いや戦後の福祉活動などについて深く考え、平和の尊さを再認識しました。中部幼稚園と直江保育所の作品も展示しました。

また、斐川西中学校合唱部による合唱や、久木方言同好会の戦時中の体験談などを組み込んだ「平和の集い」では、自然と「平和についての語り場」が生まれ、新しい学びの場となりました。



12/1(日) コミセン大掃除 * 12/8(日) 秋の収穫祭 * 地域づくり部 * 子育て・青少年部

12月1日、コミセン利用団体や消防久木分団、健康の広場管理会理事のみなさんに、コミセンとふれあいプラザの大掃除をしていただきました。

館内の窓ふきやすす払い、健康の広場の側溝の泥上げ、普段掃除できない高所作業などをお願いしました。また、エアコンのフィルターや蛍光灯の掃除もされ、1年分のほこりがなくなりピカピカになりました。

作業をしていただいた皆様、ありがとうございました。



雨のため延期していた秋の収穫祭を12月8日に開催、親子など37人が参加しました。

この日も雨模様でしたが、晴れ間をぬって畑に入り、さつまいも、白かぶ、大根、白菜を収穫しました。その野菜を使って焼き芋や豚汁を作り、昔ながらの羽釜とかまどでご飯を炊いて新米のおにぎりを作りました。

ごはんができるのを待つ間、子どもたちはラダーゲッターやスポッポールといった軽スポーツを楽しみ、歓声が上がっていました。最後に会食をし、みんなで秋の恵みに感謝しました。



12/7(土) ふれあいプラザ花壇整備 * 総務・環境部

ふれあいプラザ前の花壇をにぎやかにしようと12月7日、総務・環境部員4人が花苗を植えました。2時間かけて花壇を整え、植えた花はビオラ、パンジー、ノースポールの3種類。チューリップの球根もたくさん植えました。春まで色とりどりの花が楽しめそうです。



12/10(火) 寄せ植え教室 * 地域づくり部

12月10日、mamaniwaの樋野加奈さん(十六島町)を講師に「寄せ植え教室」を開き、12人が参加しました。
最初に寄せ植えのポイントとして①良い土を使う(栄養たっぷりの土)②植える植物を合わせる(水やりの頻度が同じ植物を選ぶ)③育つ姿を想像する(背丈が高くなる植物は後方へ、低い植物は前へ植える)ことが大事だと話されました。

参加者は、全体のバランスを考えながら植えていきました。準備された植物は、樋野さんが園芸農家へ出向き、自分で見て仕入れられたものでした。その多くが斐川町内産とわかり、地産地消の事業になりました。

【花苗】

・ガーデンスクラメン ・ビオラ ・ノースポール
・ダスティミラー ・葉ボタン ・リシマキア



12/14(土) 子育て茶話会 きんこんさんのラジオパーソナリティーになる前のおはなし * 子育て・青少年部 * 久木地区青少年育成協議会

子育ての悩みを解消しようと12月14日、茶話会を開催したところ20人が参加しました。
ラジオパーソナリティーのきんこん(梅原潔)さんを講師に迎え、自身が子どもの頃にいじめられて不登校になったこと、友人との出会いや音楽に支えられて前向きになったこと、たくさん勉強をしてラジオや司会の仕事ができるまでに至ったことなどの話を聞きました。

また、参加者からの質問を受け付けたり、リクエストに応じて「世界に一つだけの花」「LET IT BE」などの曲を聴いたりしました。まるでラジオ番組に参加しているようで、会場が盛り上がりしました。



12/15(日) 凧づくりともちつき交流会 * 久木地区社会福祉協議会 * 久木地区青少年育成協議会

昔ながらの凧づくりと餅つきを体験しようと12月15日、ふれあいプラザに15家族38人が集まりました。
凧づくりでは、荒木慎吾さん(十六夜)から教わって、自分の好きな絵を描いた和紙に竹ひごを貼り、凧糸を結びつけました。できた凧は、少し強い風を受けて見事に上がりました。

もちつきでは、あかつきファーム今在家の皆さんが蒸した餅米を臼に移し、参加者が交代で杵を持ってもちつきをしました。餅はみんなで分けて持ち帰りました。

また、斐川西中学生7人がボランティアとして参加し、サンタクロースとなって子どもたちにお菓子のプレゼントを渡しました。



10/30(水) 「自治会のあり方に関する提言書」を提出 * ひさぎ まちづくり会議

久木地区自治協会
会長 高田茂明様

令和6年(2024)10月30日

ひさぎ まちづくり会議
会長 古川君和

「自治会のあり方」に関する提言書

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、「ひさぎ まちづくり会議」は、令和5年9月13日に「久木コミュニティセンターの移転検討」や「原鹿の旧豪農屋敷駐車場及び周辺施設の一体的整備の検討」などを目的に久木地区自治協会内に設立されました。
以降、コミュニティセンターの移転や原鹿の旧豪農屋敷関連整備の課題について検討してまいりましたが、最近では、今後まちづくりを検討する上で最も重要で基礎的な単位である「自治会のあり方」について議論がなされております。
つきましては、現在、自治会離れや自治協会脱会の原因といわれており、負担感が大きいとの声が多い下記の2点について提言させていただきますので、久木地区自治協会の中で検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 自治会における各役職について、「統合可能な役職はないか」又は「現在の全ての役員を各自治会で選出する必要があるのか」などについて検討をお願いいたします。
2. 自治会が徴収する会費・寄付金等について、負担が大きいとの意見がありますが、これに対処するために「各戸一律徴収が適切かどうか」の検討や「各自治会が独自に判断できる仕組み」の検討をお願いいたします。

ひさぎ まちづくり会議(会長：古川君和)は久木地域の活性化を目的として発足し、主に「自治会のあり方」をテーマに、現在まで3回の話し合いが行われました。そこで出た意見を「自治会のあり方に関する提言書」に集約し、10月30日、高田茂明自治協会長へ提出しました。今後、久木地区自治協会の中で検討されます。

